

令和二年度鹿屋体育大学新入生の皆さんへ

鹿屋体育大学に入学した新入生の皆さん、入学おめでとうございます。鹿屋体育大学体育学部一九九名、体育学研究科二一名、合計二二〇名の新入生を迎えました。令和二年度の入学式は新型コロナウイルスによる感染者増加の現状を考慮し、中止することとしましたが、新入生の皆さんをお迎えることは、国立大学法人鹿屋体育大学の教職員ならびに在学生にとりまして、大きな喜びとするところであります。また、今日までご子弟を温かく見守り、ご支援を惜しまれなかった保護者の皆様をはじめ、関係の皆様方に、心からお祝いを申し上げます。

入学式において直接お祝いの言葉を申し上げることができないのは痛恨の極みではありますが、新入生をはじめ、参加する皆様の健康、安全を第一に考えた結論であることをご理解ください。

さて、我が国では「スポーツを通じて幸福で、豊かな生活を営むことは全ての国民の権利である」ことを法律として謳っております。

スポーツの健全な発展と推進のためには、科学的に裏付けられた理論と方法に従った指導が必要不可欠になります。鹿屋体育大学はスポーツに関する科学をさらに発展させる使命を持った大学であり、その研究成果を基に教育し、社会に貢献することを目的とした大学であります。

鹿屋体育大学体育学部の教育目標は、「スポーツ・健康・武道分野における研究成果に基づいた教育を通じて、国民のスポーツ、健康及び武道を適切に指導し得る専門的知識、実践力・実技力や指導力を有し、広く国際社会で活躍できる有為な人材の養成」です。

また、体育 学研究科の教育目標は、「国民のニーズに応じた適切なスポーツ・身体運動の指導やマネジメント及びプログラム開発、トップアスリートに対する科学的なトレーニングの指導やメニュー開発ができる能力を備えた高度職業人として、国内及び国際社会で活躍できる中核的な役割を担う人材の養成」です。

鹿屋体育大学では、これらの教育目標を達成するために、スポーツ・健康・武道分野に関する専門能力「できる、わかる、そして伝える」の3つを学べるようにしてあります。これらの専門能力を各自が目指す目標に向け、しっかりと修得してください。

皆さんが今もっている夢をかなえるためには、まずもって夢を具体的な目標に書き換え、目標達成のために計画を立て、実行することが求められます。そして、教育課程に開設された授業科目の中から、自分が目指す有為な人材に必要な科目を選択し、各自の時間割を作成し、学んでいくこと

になります。

大学における学びは、ただ知識を習得するだけでなく、自分の考え方を創るところです。これからの社会においては、知識を手に入れるだけでなく、自分の考えを持つこと、人の意見をしっかりと聞くこと、そして、自分の考えを伝えることが必要になります。教師や友人との対話を大事にしてください。

来年は夏季オリンピック・パラリンピックが東京で開催されます。また、ここ鹿児島でも本年、国民体育大会が開催される予定です。多くの国民が、県民が代表選手の活躍を期待しておられると思います。しかし、スポーツ競技大会の成功は選手の活躍だけでなく、周囲の人々の支えによる部分も大きいと思います。

鹿屋体育大学に入学された皆さんは、スポーツを「する人」を目指すにせよ、「支える人」を目指すにせよ、これからの学生生活を教職員と一緒にやって、体育学、スポーツ科学を学習し、研究していただき、これからの体育・スポーツの発展、社会に必要なリーダーとしての能力を備えていただきたいと思います。

本学は鹿児島県鹿屋市にありますが、全国各地からの仲間、海外からの留学生が集まっています。ぜひ、全国やグローバルに広がる友人を作ってくださいと思います。そして、ここ大隅の皆様方は学生諸君を温かく迎え、本学の教育研究をご支援してくださいと思います。ぜひ、この大隅の地を第二の故郷と思い、がんばってください。

新生生の皆さんへの期待と激励を述べて、お祝いの言葉といたします。

令和二年四月一日

国立大学法人鹿屋体育大学長

松下雅雄